

静岡県立静岡聴覚特別支援学校（静岡聾学校）

“学びをつなげる学校” だより

令和5年7月21日 第4号 【文責 校長 佐藤容子】

“オンラインで情報は共有できるが、感情の共有はできない”と言われます。具体的な体験の中で情報だけでない学びは、子供たちの価値観を刺激します。人と関わる中で心（思いや感情）が動き、豊かな人として育っていくことを期待しています。“コロナ明け”1学期の楽しい活動の広がりでした。

【地域とつながる学びの取組：幼稚部（小学部）】



保育園きぼう 中村町園の皆さんが、本校の幼稚部堰堤の遊具に、遊びに来てくれるようになりました。0～3歳までのかわいいお客さんです。幼稚部留守の初回は、小学部のお姉さんたちが案内し、“熱中症”に気を付けながら短時間でしたが、砂場で一緒に遊びました。また、総合的な学習で中村町のことを学んでいる4年生は、別日に保育園を訪問させていただきました。

地域とつながる学びの取組：小学部】

7月5日に 金子えり子さん御来校



「はがきの書き方」を丁寧に教わり、実際に自分で“暑中見舞い”を書いて、投函しました。金子さんお手製の印（消しゴム製の印）もいただきました。はがきのやり取りの良さを感じる体験でした。

【地域とつながる学びの取組：中学部】



中学部3年生が、静岡県中学校総合体育大会卓球の部個人戦に出場しました。緊張感の中で、自分の力を試す良い機会になったようです。

